

## 第4回廃棄物減量等推進審議会における委員意見

	1 計画（案）に対するご意見	2 一般廃棄物の推移に対するご意見	3 その他
委員A	有 環境保全のためには規制的手法、経済的手法、教育的手法をうまく組み合わせて実施していくことが必要とされており、計画案を拝見したところ今回の計画案が教育的手法に頼らざるを得ないのかなと思いました。有料化による収入がどのように使われているのか市民に示すことも必要かと考えます。そのうえで、有料化の料金が果たす役割、分別や資源化による効果も示せたらと思います。（将来的な値上げを検討するうえでも） リサイクル率の目標については、どうすれば1.8%向上するのか現状と解決策の考えを示してほしいと思いました。 なお、ごみ量などの指標について、コロナ禍の影響を考慮し、令和2年度の実績についても加味することが望ましいと思います。 また、計画の記載にあたって、全体的に文言を精査した方がよいと思います。	無 生ごみをいかに少なくするかですが、難しい問題ですよね。これを少なくすることで、ごみ料金が安くなるメリットを示すしかないかな。堆肥化容器の普及が進まないのもメリットが少ないためか？ ごみの拠点回収は、捨てやすくする工夫も必要か。循環コンビニには人が来てますよね。	無 最近の人は、活字を読まないで、計画の概要は動画配信も必要かな。回収の苦労や問題点も動画にして配信することで、収集作業の効率化とマナーの向上がはかれるか？ 以上、感想でした。
委員B	無	無	有 私の個人的考えですが、家庭でのごみの分別は、これ以上は無理です。 我が家では、13種類くらいに分別し、ごみはできるだけ出さないよう心がけています。 でもプラごみの多さには困っています。 市と企業と私たち一般市民が協力し合って、プラごみを減らすことを考えていけないものかと思います。
委員C	無	無	無
委員D	無 令和1年の実績をふまえると後期計画（案）でよいと思います。	無 有料化になって5年間、横ばいになっていることが良く理解できました。 今後も市民にごみ問題の意識を浸透させていくという地道な運動が必要だと思います。	有 私は花園町に住んでいますが、ごみ排出のマナーを守らない、ごみを窓から投げる等様々な問題があります。 町内会としてもパトロール等で取り組んでおります。 また、今年はコロナ禍でできませんでしたが、町内会まつり等で053運動を推進していきたいと思います。
委員E	有 ごみ排出マナーの向上について苦小牧の外国人マナーの現状はわかりませんが、コロナ収束後、外国人の増加が考えられるため、ごみ排出マナーの向上の対象に含めることを検討してみてもは。 ※強い意見ではありません。総合政策と話しをした時に軽く話題にあがったので。	有 成果があがっていると思う。	有 (質問) 有料ごみ袋の価格は変動することありますか。変動する場合、何に起因しますか。  (市からの回答) 現時点では価格改定の予定はございません。なお、今後の検討に当たっては、廃棄物処理に必要なコストや市場実勢価格、他自治体の価格などを参考にすることになるものと考えております。

## 第4回廃棄物減量等推進審議会における委員意見

	1 計画（案）に対するご意見	2 一般廃棄物の推移に対するご意見	3 その他
委員 F	有 10年前に比べて家庭ごみの排出量が減少していることに胸をなでおろしました。マイバッグなどの効果でしょうか？最近燃えるゴミよりプラスチックごみが増えていると感じるので（ゴミステーションのごみを見て）、そちらも減っていくとよいと思います。生ごみも処理機や堆肥化容器の助成数も着々と増えてきてるので、ごみ減量につながっていいことだと思います。我が家も電動処理機を検討中です。	無	有 リユースの促進が年々減っていることで、破碎処理量が増えているのでしょうか？ P.33からの目標値の達成状況の多くが達成困難であると書かれていて、ちょっと残念な気持ちと、一市民としての協力が足りなかったなど反省しました。 ごみ収集の在り方、ふれあい収集の継続など、ご高齢世帯が増えているので、早急に実現、拡大できるといいなと思います。  (質問) ①災害廃棄物とは放射能物質とかアスベストとかですか？ ②福島の災害廃棄物を苫小牧で処理しているという話も聞きました。これも柏原に埋められているのでしょうか？ ③処理体制とはどんなものなのか全然わかりませんでした。適正処理とは何かわかりませんでした。  (市からの回答) ①計画（案）に記載される「災害廃棄物」とは、今後想定される大規模災害（地震や水害など）時に発生する廃棄物のことを指すもので、放射性廃棄物やアスベスト等を指すものではありません。 ②東日本大震災における災害廃棄物は、本市では処理しておりません。 ③災害廃棄物の処理は、単独自治体では解決困難な課題ですので、近隣自治体との連携を含め、調査・検討を進めてまいります。
委員 G	無	無	無
委員 H	無	無 コロナ禍の影響で外食が減ったため、家庭ごみが増加するのは仕方ないことだと思います。	有 一人ひとりがごみに対する認識が変わり、良い方向に向いていると思います。 ごみが将来子供たちにどのような影響があるのか、小学校の時から学ぶ機会があり、家庭で話し合えるきっかけになっている。 ごみの再利用のすばらしさを勉強できる機会をたくさん作っていただけるとありがたいです。
委員 I	有 1. 戸別収集の全市拡大を一時凍結された。これまでの試行で全市拡大に向けての課題と解決策は明らかにされていると思います。全市拡大はごみ減量、地域の美化向上に直結すると考えます。計画（案）に全市拡大の明記と工程を示されては如何でしょう。 2. 資源物回収事業者の中には、買い取り価格の低迷、人件費アップ等でコスト割れに陥り、このままでは従来の回収を継続できないというところも出始めています。リサイクルの促進では（P-49）、回収事業者の支援にも触れていただきたいと思います。	有 R1実績550g/人・日でR6目標が同じ550g/人・日では、下げることが困難だということではありますが目標にするには物足りなく思います。 現状コロナ禍にあるとはいえ目標はいくらかでも下げるべきではないでしょうか。 家庭ごみR2/4～11速報値の4.8%増は、各家庭の断捨離による影響が大きいと考え、ワクチン接種に近い将来行われ少しでも生活がもとに戻ることを期待したいと思います。	有 [誤記と思われる部分がありました。] P-54生活処理体系の項1行目、処理・処分の流れを図4-1、図4-1、図4-1に示す。

## 第4回廃棄物減量等推進審議会における委員意見

	1 計画（案）に対するご意見	2 一般廃棄物の推移に対するご意見	3 その他
委員J	有 妥当であると考えます。	有 道内主要都市のリサイクル率で6年連続首位は大変立派です。市民の皆さまや関係各位の並々ならぬ努力の賜物です。もっと広くアピールして分かち合うべきだと思います。	有 コロナ禍の中、外出自粛の影響で家庭ごみが増えるのは仕方ないことですね。ただ、一人一日当たりの家庭ごみ排出量は、目標値550gに対し、令和2年601gと、この差51gは卵1個分。何とかなるような気はします。
委員K	有 コロナ禍における生活様式の変化に伴い、在宅時間が長くなるとともにテイクアウトの利用頻度が増加していることなどを踏まえると、今後は増加傾向に転じる可能性も否定できない。という予測があるが、それに対する具体的な解決案はないのでしょうか。	有 上記1に続く内容ですが、テイクアウトに関してはマイ容器持参運動や、容器代をきちんと表示してサービスの一環としない、などゴミ袋有料化と同じような流れにすることで一人一人の意識が変わってくるのではないのでしょうか。 またスーパーの野菜・肉・魚などの販売方法もすべてg売りにして梱包資材を減らす取り組みをすべきではないでしょうか。昔の量り売りのほうが明らかにゴミは少ない。	有 私は常に有料ゴミ袋に疑問を感じます。ゴミとして捨てられるためだけの役割しかない新品の袋にお金を払うことをとても非効率だと感じるからです。同じお金を使うのであれば、家のごみ箱をそのままゴミステーションにもっていき、そこで大きなゴミ箱に移してゴミ収集車がその大きな街角のごみ箱をキレイにするような設備投資のほうが、無駄がない。 総じてゴミの量も一定量は減ると思う。 ゴミ重量ごとに課金するシステムをマイナンバーカードなどでできるになるとより画期的だと思う。 マイナンバーカードを持たない人はその場で割高の現金を投入しゴミを捨てる、などの対策でカード保持率も上がると思う。 早い段階でそういった大規模な設備投資を行っておくことで、結果は出やすくなるのではないかと思う。 もしゴミ袋のプラスチックが焼却時に必要なエネルギーであるとすれば、ゴミ袋として使えるレベルの袋（材質や厚みや大きさなど）を提供するお店には市からそのゴミ袋代の補助を出すなどし補填する。 住民はその指定袋を提供するお店での買い物であれば最低限のビニール袋を無料でもらえ、それをゴミ出しで使えるようになっていけば、効率よくビニール袋を消費できる。 なおかつゴミ出しで使えるものだとわかっていたらポイ捨てにもつながらないのではないだろうか。
委員L	無	無	無
委員M	無	無 一人一日当たりのごみ排出量の推移、横ばい、言うことですが、苫小牧市民はもう少し頑張れそうな気がします。	有 コロナ禍でなくとも、今後、審議会等の開催をオンラインで行うことなどを検討してもらいたい。 平日日中に市役所で開催される会議に出席しなければならないという法的根拠があるのかは把握しておりませんので、質問的な意見としてお読み下さい。 各委員は団体等の代表者（推薦者）ではあるが、仕事を持っている人も多い。そのような方々でも、オンラインであれば、例えば1時間だけ職場内で休みを取り、その場から（もちろん別室などから）会議に参加することもできるだろう。 市役所往復の時間をセーブできる。若い現役世代は、市民のニーズを敏感に感じ、建設的な意見やアイデアも持っていると思うので、開催方法を変えることでそのような委員を取り込むのがいいのではないかと思います。 また、大会議室で開催し、多くの担当者や有識者が段取り良く進める審議会で、果たして率直な市民感覚の意見は出せるだろうか？審議会は、有識者の意見のみを求めているわけではないと思う。 今回のように書面回答の方が、よりじっくり読むことができるし、意見等を出そうかな、という気持ちにもなる。

## 第4回廃棄物減量等推進審議会における委員意見

	1 計画（案）に対するご意見	2 一般廃棄物の推移に対するご意見	3 その他
委員N	無	無	無
委員O	無	無	有 資源ごみのリサイクルについて、排出マナーの周知がもっと必要と思います。 汚れたものが入っていると、リサイクルできないと知り、洗って分別。 私たちの意識を少し向けるだけでも、リサイクル率が上がり、ごみ排出量が減ります。 児童や学生への学習、良いと思ました。
委員P	無 それぞれの目標値の設定は、これまでの状況を踏まえ、妥当なものと考えます。	無 これまでの状況を確認できました。	無 基本計画は【改訂版】（案）は、種々のデータに基づき解析されており、今後の計画策定については適切であると感じました。
委員Q	有 R1 実績値550 g/人日⇒R6 中期計画520g/人日とした目標を後期計画550 g/人日と下方修正する事は、施策不足を露呈していると思われる。他の資料のDATA を見ても居住者人口が減少に転じている中で、ゴミ排出量が増加しているが増加したゴミの種別を明確にする必要があるのではないか。ゴミの分別を促進し有価物ゴミは資源として売却し、排出ゴミから除外する必要があると思われる。 インバウンド需要拡大により事業系ゴミは増加する傾向である事を前提としても、居住者人口が減少の中でゴミR6 後期計画の増加目標は理解しにくい。 川崎・横浜・仙台・郡山等に居住していたが、ゴミ分別は苫小牧市の分類より遥かに多岐に渡っている。 また、近隣には札幌等からの単身者が多数いるようです、それらの方々が引越す際、分別もせず指定ゴミ袋にも入れずにゴミ置場に排出する事も散見しており転出引越者への引越しゴミ請求も検討してはどうでしょうか。	有 上記に準じる	有 ゴミを如何に資源化するか、また自治体で処理するゴミの一部処理を民間に移譲し有料化及び資源化する施策を検討しては如何ですか。 大胆な策を講じる必要があると思います。 ゴミ増加・ルールを守らないゴミ排出は居住者のモラルが低い事も潜在的にあると思います。
委員R	無	無	無
委員S	無	有 リサイクル率が道内主要都市のなかで6年連続で1位になっているのはとてもすばらしいことだと思います。ゼロごみ推進課による小中学校への出前講座や環境戦隊053ファイブの啓発などの活動の賜物だと思い深く感謝いたします。	有 今年度はコロナ禍のためか、ポイ捨てごみがかかり多いように思います。ご苦勞をおかけしますが、これまでに作製された工夫を凝らした看板の第6段第7段…をお願いします。
委員T	無	無	無